

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

記

- 1 会議名 土岐商業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年10月8日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 土岐商業高等学校 会議室
- 4 参加者 学校運営協議会委員
竹下啓太 あいちビジネス専門学校 校長
鈴木辛 東海旅客鉄道株式会社土岐市駅 駅長
佐野栄子 土岐地区更生保護女性会 理事
伊藤諭美 前土岐商業高等学校育友会 母親委員長
藤田裕子 藤田陶器株式会社 代表取締役 (欠席)
平野昇 土岐市土岐口財産区 議長 (欠席)
学校側
服部幸広 校長
吉田孝夫 事務長
村橋昌則 教頭
溝口美智代 教務部長
千葉かをり 進路指導部長
伊藤陽介 商業部長
若園茜 記録
近藤大貴 生徒指導部長 (欠席)

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 第30回岐阜県高等学校生徒商業研究発表大会の報告(商業)
 - ・上記大会での発表「コミュニケーションのカタチ」を行った。
 - 相手に心遣いが伝わるコミュニケーションの取り方を研究し、岐阜県立東濃特別支援学校との共同学習やMama's Café との子育て支援の取組に参加した。
- (2) 校長の挨拶
 - ・第30回岐阜県高等学校生徒商業研究発表大会では、出場した生徒たちが満面の笑みで発表ができ、審査員から好評を得た。
 - ・本校教諭が西陵中学校の授業を見学させていただいた。「双方向・グループワーク・学び合い」など授業形態が大きく変わってきている。高校でも研究していかななくてはならない。
- (3) 地域連携による活力ある学校を目指して(中間報告)(商業)
 - ・昨年度までは、特定のコースの生徒だけが地域連携を行ってきたが、すべてのコースの生徒が取組むように変更した。

- ・地域の担い手として、「つながり」をテーマに地域に必要とされる高校を目指す。
 (取組事例)
 - ・SNS と Web で情報発信 (スパイスファクトリーあべべと連携)
 - ・土岐商ショップ (東濃地区の高校と連携)
 - ・第4回土岐商サイダーフォトコンテスト実施
 - ・土岐市陶器祭りイベントへの参加
 - ・土岐市制70周年事業のサポート事業審査会に参加
- (今後の予定)
 - ・11月30日(土) 土岐プレミアムアウトレットにて販売実習
 - ・12月14日(土)、15日(日) もとてらす東美濃にて販売実習

(4) 学校評価アンケートの報告 (教頭)

- ・令和6年度学校評価の分析結果と課題について説明。
- ・学校経営、広報活動、教職員の姿勢、社会生活の基礎的・基本的な力を身につける指導等、概ね肯定的な意見であった。
- ・保護者や地域の方が学校を参観する機会が少ないと捉えている保護者が若干名いる。
- ・forms を利用したアンケートを実施したが、三者懇談時に直接保護者に案内をしたが、回答率が43.7%と低かった。
- ・「体罰やハラスメントはない」に対する回答は「あまりあてはまらない・全くあてはまらない」は本来ゼロでなくてはならない。入力ミスなのか実際あるのか調査を行っている。毎月、教育相談アンケートを実施しているが、困り感のある生徒は見受けられない。生徒の尊厳を守りながら日々の指導に努めていきたい。
- 意見1：アンケート調査の信頼度は紙ベースの方が高い。参考にさせていただけるとよい。
- 意見2：体罰やハラスメントについては、随時、聞く姿勢を示すことが大切である。
- 意見3：全体的に「よくあてはまる・ややあてはまる」という回答が多く、保護者や生徒に信頼されていることがうかがえる。
- 意見4：質問の表現が理解されていないケースがあるのではないかと。
 ⇒来年度に向け、質問項目の表現を見直していきたい。
- 意見5：「学校を参観する機会が少ない」という意見が見られたので驚いた。実際、授業参観日などを設定しても、平日に仕事を休んでまで参加する人は少ないのではないかと。
 ⇒コロナ前には、授業参観週間など設定していた時期もあったが、実際に参加する保護者は若干名であった。今後も、学校の様子分かるよう情報発信に努めていきたい。

(5) スクール・ミッションについて (校長)

- ・進学者の多くは名古屋市に進学している。大学卒業後、地元に戻って就職する生徒を増やしたい。その目標に向け、地域連携を進める中で、地域について考える機会を増やしたい。このような思いから「地元自治体や企業等と連携・協働した学びを推進する学校として、最新の専門知識と技術の修得を通して、将来、地域について考え、支える人材の育成を目指す学校」という案を出させてもらった。
- 意見1：商業高校生として最新の専門知識と実践的なビジネススキルを修得するとともに、地域連携を進める中で、地元について考える機会を大切にしていきたい。大学卒業後、地域に戻ってほしいと願ったスクール・ミッションでいいと思う。
- 意見2：大変良いスクール・ミッションだと思う。
- 意見3：地域の多くの方、特に職業人と出会う機会を増やしていただきたい。
- 意見4：子どもたちが理解して、将来地元に戻ってきたいと思ってくれるかどうか大切である。

(6) 校長の挨拶

本日はお忙しいところ学校運営協議会にご参加いただきありがとうございます。
 学校の我々では見えていないことも多い。様々な角度からご意見をいただくことが大切だと思っている。

今後ともご意見ご助言を賜りますようお願いいたします。

6 まとめ

第2回学校運営協議会において、前期の学校運営、学校評価、スクール・ミッションについて、全委員の理解を得ることができた。委員からは、地域連携の取組の中で実践する貴重な場の提供が大切であるという意見をいただいた。今後も、地域への情報発信に努め、さらに地域連携を推進していく。

今回の第2回学校運営委員会での意見を、後期の学校運営につなげていく。